

事業番号	10 02 17	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	全国一の森林セラピー県推進事業			担当課	部局	林務部	
				担当課	課・室	信州の木活用課	
総合5か年計画	プロジェクト	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり			E-mail	ringyo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進			実施期間	H27	～ H29

1 事業の概要

目指す姿	森林セラピー基地等の積極的な活用をすすめるため、国内外先進事例の調査分析、森林セラピーを研究する大学との共同研究及び県内セラピー基地の連携強化を図り、名実ともに「森林セラピー県ながの」と言われる森林セラピー基地の創造を目指す。														
現状 (予算編成時)	森林浴による「癒し」効果が科学的に認められた森林セラピー基地等が全国57カ所設定されているうち、10カ所を有する本県は、全国一の森林セラピー県である。 しかし、平成18年度の認定開始から8年が経過したが、森林セラピーを目的とした利用者ほどの基地でも1%程度と少なく、「森林セラピー県ながの」を全国に向けて発信していくためには、受入先である森林内でのガイドの質的向上を積極的に図るとともに、部局連携による事業の推進を図る必要がある。														
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 全国一の森林セラピー基地を有する「森林セラピー県ながの」を推進するために必要な施策を講じる					県民との協働による実施： 検討中								
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)														
	森林セラピー基地の誘客数(ガイド利用者)をH29までに事業実施前の120%とする。27年度は事業実施前の105%。 H27:5,000人(H26見込)→5,250人(H27)														
	② 事業内容 (単位:千円)														
		項目	実施方法	H27実施内容	H26 (当初)	H27 (要求)	H27 (予算案)								
	先進事例の調査分析	直接	・NPO法人森林セラピーソサエティとの連携による国内外の先進事例の調査分析。 ・全国の森林セラピー基地の活動実態調査及び分析。	0	600	0									
	大学との共同研究	直接	・森林セラピー推進研究会の発足 ・森林セラピーの研究と現場における実証連携	0	869	0									
	県内拠点の資質向上	直接・委託	(・森林セラピー推進研究会の発足) ・ガイドの資質向上のためのフォローアップ研修会の開催 ・大学との共同研究の実用化 ・PRパンフレット等の作成	0	1,531	0									
	合計			0	3,000	0									
事業コスト	区	分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27要求	27予算案	成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越							項目	H26末 (見込)	H27			H28 目標	
		当初予算				3,000	0	目標			成果	達成状況			
		補正予算						森林セラピー 基地の誘客数					5,000人		5,250人 (実施前の 105%)
		合計(A)	0	0	0	3,000	0								
	Aの 財源	一般財源				3,000	0								
		県債													
		国庫支出金													
		その他	0	0	0	0	0								
	ト	決算額(B)													
概算 人件費	職員数(人)				2.00										
	概算人件費(C)	0	0	0	16,516	0									
	概算事業費(B(A)+C)	0	0	0	19,516	0									
指摘事項等への対応	(指摘事項等)					(対応)									
要求からの主な変更点	平成26年度2月補正予算(経済対策)に計上したことによる減額。														